

福井市内49地区社協と市社協をつなぐ情報紙

# むすんで ひらいて

第51号

発行日  
令和4年9月

発行：福井市地区社協連絡協議会  
〒910-0018福井市田原1丁目13-6 フェニックス・プラザ1階  
(社会福祉法人 福井市社会福祉協議会内)  
TEL 0776-26-1853 FAX 0776-26-9109

◆福井市社協のホームページからバック  
ナンバーをご覧ください

## 地区社協会長情報交換会 開催

テーマ

子ども福祉委員の  
取り組みについて考える



令和4年7月8日(金)、市内の地区社協会長を対象にした情報交換会を開催し、37名の参加がありました。

第1部では子ども福祉委員活動の概要を市社協が、実際の取り組み事例を鶏地区社協清川会長、宮ノ下地区社協小西会長が発表しました。第2部では7つのグループに分かれてグループ討議を行い、子ども地域での役割や子どもと一緒にできる地域福祉の実践活動について熱心に話し合いました。

参加者からは、「他の地区の実情がよくわかるので、活動の参考になる」「子どもたちへの福祉の心を育てていく重要性を再認識できた」という感想が聞かれました。高齢者対象の見守り活動だけではなく、子どもや障がい者すべての地域住民を対象にした地域福祉活動について改めて考えることができました。

今後も地区社協活動の活性化のため、会長同士の情報交換の場を設け、地区社協相互の連携とつながりを図っていきます。

# コロナ禍でも絶やさない支え合い活動



現在も新型コロナ感染者は増加傾向にあり、今後も感染防止に留意しながら、孤立をうみ出さない地域づくりを進めることが求められています。その取り組みの1つが「地域支え合いマップ」作りです。地域のつながりの希薄化などによる地域住民の孤立や日常生活の不安をなくすため、マップを用いながら、地区の自治会長、民生委員児童委員、福祉委員、地区社協役員らが協力し、見守り体制の強化を図っています。

## 地域支え合いマップとは・・・

地域の中で日常的な見守りや災害時に支援が必要となる人を確認し合いながら、その情報を住宅地図に落とし込み、目に見える形にしたものです。

- 目的 ①見守り体制の強化 ②災害時の要支援者の把握  
③情報の継続性 ④地域課題や社会資源の発掘



今年度も各地区で  
地域支え合い  
マップ作りを  
行っています!

### 足羽 地区



日常的な見守りをしやすくするため、用意した地図を見ながら、見守りが必要なひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、災害時要支援者、その他見守りが必要な世帯にマーカーや色シールを貼っていきます。

### 酒生 地区



シールを貼った世帯がどのような生活をされているのか、わかる範囲で話し合います。日中の生活の動きがわからない場合や、だれともつながっていない世帯がないか確認し、地図の上だけではわからないよりいきた情報を共有します。



### 円山 地区

#### ガイドブック「支え合いのすすめ」



円山地区社協では、日頃の見守り活動に、ガイドブック「支え合いのすすめ」を活用しています。

このガイドブックは、支え合い活動のさらなる充実のため、令和2年に独自に作成したものです。「見守り活動において気を付けたいこと」や「見守りのエピソード」について載せており、コロナ禍の現在においても、自治会の役員の方々をはじめとして、福祉委員、民生委員児童委員が、見守り活動に役立てています。表紙のキャラクターは、公募で採用した円山地区支え合いマスコット「まるちゃん」です。ガイドブックだけではなく、広報誌や封筒、チラシ、回覧板に使用するなど、大活躍しています!

# 地域福祉リーダー研修会開催報告

(地区社協連絡協議会共催)

## 第1回

### 「食事を通してのフレイル予防の理解 及び食中毒対策などの衛生管理」



講師 医療法人健康会 嶋田病院  
管理栄養士 西端 志保氏

開催日 6月2日(木)  
参加者 69名

食事サービス事業の安心・安全な実施のため、地区社協の食事ボランティアの方を対象に研修会を開催しました。今回の研修会では、たんぱく質が含まれるメニューを取り入れることによって、栄養面からフレイル予防(※)

につながることを理解し、食事サービス事業に活かせる高齢者向けの献立について学ぶことを目的としています。

研修会では、フレイル予防の食事、お弁当を作る時のポイントだけではなく、食中毒対策など衛生管理面での留意点についても学び、食事サービス提供時の意識を高めることができました。

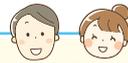
高齢者だけでなく、自身の日々の献立にも役立つお話でした。



#### ※フレイルとは…

高齢者の身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のことを指しますが、適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずに済む可能性があります。

#### 参加者からの声



- 「具体的でわかりやすく勉強になった」
- 「今日の研修会の資料を台所に置いて参考にしたい」
- 「これから暑くなるのでより一層気を付けていきたい」

## 第2回

### 「身体的・社会的 フレイル予防とは」



講師 医療法人健康会 嶋田病院  
理学療法士 細川 昌樹氏



開催日 7月4日(月)  
参加者 69名

「身体的・社会的フレイル予防」のため、自治会型デイホーム協力者の方を対象に研修会を開催しました。今回の研修会では、デイホームで地域の様々な人につながることを通じて、フレイル予防につながることを理解し、デイホーム事業にかかわる意義を学びました。

研修会では、フレイルの特徴やサルコペニア(筋肉減少)などについてや、それらを予防するために「栄養・運動・社会参加」がどれ一つとして欠けてはならないなどのお話がありました。

た。特に「社会参加」については、社会とのつながりを保ち、自分に合った活動を見つけていることが重要とアドバイスがありました。講義のみではなく、実践できる体操を行い、参加者も楽しみながら研修を受講することができました。



#### 参加者からの声



- 「フレイルについて理解が深まった」
- 「具体的に考えたり、体を動かすことで楽しく受講することができた」
- 「デイホームの中で少しずつ取り入れていきたい」

# 地区社協の活動と取り組みを紹介します

## 西藤島地区

### スポーツをとおして 楽しい地域福祉活動

西藤島地区は、福井市中央部から車で15分程と交通の便も良く、九頭竜川と日野川の合流地点でもあり、水の豊かな農業の盛んな地区で人口約4700名が暮らしています。

近くには福井県立武道館があり、柔道・剣道・なぎなた等7種目の武道を身につけるために、小学生から高齢者まで幅広く多くの利用者が日々励んでいます。

社協活動としての自治会型デイホーム事業は、新型コロナウイルスの不安



から参加者も減少傾向にあるため、どうすれば安心して参加していただけるかを会議の中で専任職員を交え、議論し実践しています。

その中でふれあい広場としての「グラウンドゴルフ」に  
関しては、地区の日野川浄化センター芝生公園での月に2回の開催ですが、屋外での活動のため参加者も多く、プレイしている姿は非常に若々しく、コア記録記入は頭の運動にもなり、ルールを守り相手の良いプレイはほめる等、楽しんで学べる事業となっています。

また年に一度グラウンドゴルフ大会も開催し地区の一般の方にも参加していただき、三世代交流を図っています。  
「コロナ禍での活動も3年目となり、以前は出来ないと考えていた事も、工夫次第で出来ることも分かってきました。」  
核家族化が進む中、子どもたちにもお年寄りとの交流を通して、優しさや思いやりの心を育て、お年寄りには明るい笑顔が見られるような取り組みを進めて行こうと思います。

西藤島地区社会福祉協議会

事務局長 水野 清美



## 日新地区

### ふれあえる日新 助け合える日新

日新地区は福井駅の北西に位置し、暴れ川で有名だった「底喰(そこばみ)川(がわ)」が中央を東西に貫いています。今は住民の手で整備され、盛夏、兩岸はミソハギのピンクの絨毯に彩られます。人口約5400名、閑静な住宅街ですが少子高齢化は避けられない課題です。

当会では2年前から「ふれあえる日新、助け合える日新」を合言葉に体制や活動を見直してきました。  
体制面では「理解者づくり」です。令和2年から40の自治会会長に当会評議員として参画いただいています。課題意識を共有し、地域福祉活動と自治会活動を一体化して進めることで、自治会毎に理解者拡大を図っています。

活動面では「良き活動の選択と集中」です。「コロナ禍により活動の制限を余儀なくされる中、活動の目的、本質を今一度見極め、集中することが重要です。」  
一例をあげると、日新の自慢の一つは子どもたちの挨拶です。登下校時、小中学生はもろろん、高校生からも「こんにちは」と挨拶されると、外部の皆さんは目を丸くされます。  
小学校の福祉授業や活動で、機会があると、元氣な挨拶を受けた皆さんの「生の感想」を伝えていきます。すると、決まって互いに顔を見合わせ、瞳がキラキラ輝き始めます。

人に喜んでもらう事は自分の喜びという、福祉の本質に触れる体験があつて、理解者、伝統が育まれるのではないのでしょうか。住民全員が自然体でふれあい、助け合えるよう、良き活動を地道に積み重ねていきたいと思えます。

日新地区社会福祉協議会

庶務 真柄 秀敏



### お詫び

むすんでひらいて50号(令和4年6月発行)の「令和4年度各地区社協会長名簿」に、左記の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

(誤) 清水北 白崎 敏雄

(正) 清水北 白崎 俊雄

(敬称略)